

## 総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

### 1. 研究課題名

退院後療養先の合意形成を可視化した退院支援・調整パス実践報告

### 2. 研究の対象患者

2018年1月から3月までの間に退院支援・調整パス稼働した患者さん

### 3. 研究の対象期間

2018年1月～3月

### 4. 研究の概要

A病院は千葉県北東部の三次救急を担う急性期病院である。A病院が担う二次医療圏内の高齢化率は30%前後を推移し年々高齢化が進展している。入院患者の高齢化も進み病状が安定しても元の日常生活動作レベルに戻れず、入院前の生活の場所へ退院することが出来ないケースも増えている。

以前は高齢患者が入院後、患者の意思決定支援が十分行われず医師と家族のみで退院後の療養先を決定する場面もあった。退院支援とは「患者が病気や障害を抱えながらどこで療養するか、どのような生活を送るか自己決定する支援である」ということから患者、家族と医療者側、多職種が意思決定支援に参加し、退院後療養先の合意形成を可視化することが重要と考え、そのツールとして平成27年に医師、看護師、医療ソーシャルワーカー（以下MSW）、リハビリ、薬剤師、栄養士からなるワーキンググループによって退院支援・調整パス（以下パスとする）が作成された。

今回、パスが稼働し2年が経過したことより、運用状況とアウトカム評価について後方視的に検討する。

### 5. 研究実施予定期間

2018年7月18日～2018年10月31日

### 6. 研究に用いる試料・情報の種類

#### 【患者、家族アウトカム】

- ①「入院生活について理解している」
- ②「治療方針に合意できる」
- ③「退院先に合意できる」

#### 【医療者アウトカム】

- ①「治療・看護方針を説明する」
- ②「患者・家族の理解を確認する」

### 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・ 研究責任者：医療連携福祉相談室 八馬 弘美
- ・ 臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)